

松本市景観計画改定業務委託
公募型プロポーザル 審査項目及び配点

1 評価基準と採点の方法

評価は、複数の提案をそれぞれ評価する相対評価を原則とし、Cを標準に5段階評価とする。

A：特に優れている、高度の能力を有する B：やや優れている、十分な能力を有する

C：普通（標準） D：やや劣る、物足りなさを感じる E：特に劣る、任せることが不安

採点は、各項目の配点に評価ごとの係数を乗じて算出する。

A：×1.0 B：×0.8 C：×0.6 D：×0.3 E：×0.1

A	B	C	D	E
特に優れている 高度の能力を有する	やや優れている 十分な能力を有する	普通（標準）	やや劣る 物足りなさを感じる	特に劣る 任せることが不安
1.0	0.8	0.6	0.3	0.1

2 技術評価

	評価項目			評価の基準	配点	評価	係数	
予定技術者の評価	1	管理技術者	資格要件	資格	○ 技術士資格（建設部門又は総合管理部門「都市及び地方計画」）を有する。 ○ 上記に該当しなければ失格			
			専門技術力	実績	○ 同種業務の実績又は類似業務の実績がある。 ○ 上記に該当しなければ失格			
			3	専任性	手持ち業務	手持ち業務の契約金額合計及び件数を評価する。 A 契約金額合計 5 千万円未満かつ件数 1 件以下 B 契約金額合計 1 億円未満かつ件数 2 件以下 C 契約金額合計 2 億円未満かつ件数 5 件以下 E 契約金額合計 2 億円以上または件数 5 件超え	1	A
	B	0.8						
	C	0.6						
	—	—						
	E	0.1						
	4	資格要件	資格	下記の順位で評価する。 A 技術士資格（建設部門又は総合管理部門「都市及び地方計画」）を有する。 C R C C M(都市計画及び地方計画)を有する。 E 上記以外	2	A	1.0	
						—	—	
						C	0.6	
						—	—	
						E	0.1	
	5	主たる担当技術者	専門技術力	実績	下記の順位で評価する。 A 同種業務の実績がある。 C 類似業務の実績がある。 E 上記以外	2	A	1.0
							—	—
							C	0.6
—							—	
E							0.1	
6	専任性	手持ち業務	手持ち業務の契約金額合計及び件数を評価する。 A 契約金額合計 5 千万円未満かつ件数 1 件以下 B 契約金額合計 1 億円未満かつ件数 2 件以下 C 契約金額合計 2 億円未満かつ件数 5 件以下 E 契約金額合計 2 億円以上または件数 5 件超え	1	A	1.0		
					B	0.8		
					C	0.6		
					—	—		
					E	0.1		

7	技術者配置	適切な技術者配置	○ 業務の特性を理解し、技術者配置を工夫しているか。 ○ 配置技術者の人数は適切か。	4	A	1.0
					B	0.8
					C	0.6
					D	0.3
					E	0.1
8	専門能力、経験		○ 業務に関する高度な専門知識、経験が確認できるか。 ○ 国、他先進自治体などの景観施策やまちづくりの動向に精通しているか。	5	A	1.0
					B	0.8
					C	0.6
					D	0.3
					E	0.1
小 計 (A)				15		

企画提案の評価	9	業務の実施方針等	実施方針	☐ 業務に係る課題認識が適切であるか。 ☐ 課題に対する取組姿勢や実施方針が的確であるか。 ☐ 本市の特色を踏まえた方針が示されているか。	5	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			手順	☐ 業務実施手順は妥当性であるか。 ☐ 業務実施手順に工夫や独自性がみられるか。	5	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			工程	☐ 指定する期間内に業務を完了できる工程が明確であるか。 ☐ そのための実施工程に工夫や独自性がみられるか。	5	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
	10	特定テーマ ア 景観重点地区指定にあたり、有効な調査と考慮すべき事項について イ 中心市街地のにぎわい創出に向けた、建物高さの在り方を含めたあらたな景観誘導策の提案	的確性	☐ 本市の特性や課題を踏まえた提案が行われているか。 ☐ 着眼点、問題点、解決方法等が適切か。	8	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			先進性	☐ 景観計画制度に関する最新の動向が読み取れるか。 ☐ 計画を有効に活用するための新たな手法が提案されているか。	8	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			実現性	☐ 提案内容に説得力、実現性があるか。 ☐ 具体的な提案を示し、明確な手順をイメージできるか。	8	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			創造性 独自性	☐ 新しい提案、創造的な提案内容があるか。 ☐ 松本らしさを感じさせる提案内容があるか。	8	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1
			関連性	☐ 関連計画や施策等への展開に向けた提案があるか。 ☐ 関連する事業や施策を見据えた提案があるか。	8	A	1.0
						B	0.8
						C	0.6
						D	0.3
						E	0.1

企画提案の評価	11	ヒアリング	専門技術力	○ 質問に対して、専門的かつ具体的な受け答えができていますか。	5	A	1.0			
			B	0.8						
			C	0.6						
			D	0.3						
			E	0.1						
			取組姿勢	○ 企画提案に関する補足説明が明確で、業務に対する取組意欲が強く感じられるかどうか。	5	A	1.0			
			B	0.8						
			C	0.6						
			D	0.3						
			E	0.1						
			コミュニケーション力	○ 質問への応答が明解、かつ迅速かどうか。	5	A	1.0			
			B	0.8						
			C	0.6						
			D	0.3						
			E	0.1						
			プレゼンテーション技術	○ わかりやすい資料作成、読み取りやすい構成等に配慮されているか。 ○ 市民への説明を念頭において、理解しやすい表現等に配慮されているか。	5	A	1.0			
			B	0.8						
			C	0.6						
			D	0.3						
			E	0.1						
			小 計 (B)					75		
			技術評価点 合計 (A + B)					90		

3 価格評価

	評価項目			評価の基準	配点	評価	係数
価格	12	参考見積	コストの妥当性	見積額について、相対的に評価する。 価格評価点=(最低参考見積額／参考見積額)×100	10		最低提案見積額
	価格評価点 合計 (C)				10		／提案見積額
合 計 (A+B+C)					100		